

平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（大阪市旭区）

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- 大阪市営地下鉄内の区役所管轄のラックや掲示板にポスター・チラシ配布。病院、薬局・図書館・スポーツセンター等人が集まりやすい場所の目につきやすい場所へ掲示。
- 地域包括支援センター等が行う家族支援事業への認知症ケアパスの配布。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- 認知症ケアパスを作成し、医療・介護への相談窓口の早期の発見・介入を心がけている。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

- 昨年は、対応ケースが2件。相談件数としてはあまりあがってきていない現状である為、法人ホームページや地下鉄構内にチラシ等で周知を行い早期発見できる体制を作っている。

IV 認知症の人の介護者への支援

- 認知症カフェの立ち上げ支援を行った。昨年度は新規が一つ立ち上がり3か月毎の開催であった認知症カフェが毎月開催になった。認知症の方や介護者へ活用してもらうよう周知を行っている。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- 平成30年6月29日 認知症への理解を深める映画上映会にて認知症ケアパスを元に講演。
- 平成30年11月9日 認知症徘徊模擬訓練参加。認知症予防啓発行う。

VI 会議や研修等の実施及び参画

- 平成30年10月10日 旭区内の介護支援専門員の方向けに、認知症対応能力向上研修を実施。